

教育警察常任委員会

付託議案審査

○ 議案第89号「工事請負契約の変更について」

資料1 工事請負契約の変更について …… 1頁

所管事項調査

1 「令和8年版県政レポート（案）」について（関係分） …… 別冊

2 犯罪情勢について

資料2 犯罪情勢 …… 3頁

3 特殊詐欺対策について

資料3 特殊詐欺対策 …… 5頁

4 水難・山岳遭難の認知状況等について

資料4 水難・山岳遭難の認知状況等 …… 6頁

5 交通安全対策について

資料5 交通安全対策 …… 7頁

(別冊) 令和8年版県政レポート（案）

(別紙) 特殊詐欺対策アプリ

令和8年6月18日
警察本部

議案 第 8 9 号 工 事 請 負 契 約 の 変 更 に つ い て	
工 事 名	三重県警察本部科学捜査研究所棟ほか建築工事
施 工 場 所	三重県津市栄町一丁目 1 0 0 番地ほか
契 約 の 金 額	変更前 1,509,634,621円 (消費税等含む) 変更後 1,545,724,224円 (消費税等含む)
請 負 者 住所及び氏名	津市大倉 1 9 番 1 号 日本土建・堀崎・三重農林特定建設工事共同企業体 代表者 日本土建株式会社 代表取締役社長 田村 頼一
契 約 工 期	令和 6 年 1 0 月 1 8 日 から 令和 8 年 9 月 1 1 日
<u>工事内容</u> 建築工事 ・科学捜査研究所棟 鉄筋コンクリート造 5 階建 延べ面積 2,604.15㎡ (新築) ・渡り廊下 アルミ造 平屋建 建築面積 12.37㎡ (新築) 上記に係る建築工事一式	変更理由 建設工事請負契約書第 2 6 条第 6 項 (インフレスライド条項) に基づき、 請負者から賃金等の変動による契約金額 の変更請求がなされたこと等から、 工事請負契約における契約金額の増額 変更を行うものである。
契 約 の 方 法	随意契約

議案第89号

工 事 請 負 契 約 の 変 更 に つ い て

三重県警察本部科学捜査研究所棟ほか建築工事請負契約の変更契約を、次のように締結するものとする。

令和8年6月3日提出

三 重 県 知 事 一 見 勝 之

- | | |
|-----------------|---|
| 1 工 事 名 | 三重県警察本部科学捜査研究所棟ほか建築工事 |
| 2 場 所 | 津市栄町一丁目100番地ほか |
| 3 契 約 金 額 | 変 更 前 1,509,634,621円
変 更 後 1,545,724,224円 |
| 4 契 約 方 法 | 随意契約 |
| 5 請 負 者 住 所 氏 名 | 津市大倉19番1号
日本土建・堀崎・三重農林特定建設工事共同企業体
代表者 日本土建株式会社
代表取締役社長 田 村 頼 一 |

提案理由

この工事請負契約の変更契約締結については、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定により議会の議決を要する。これが、この議案を提出する理由である。

【第 89 号 工事請負契約の変更について】

犯罪情勢

1 刑法犯

	R3	R4	R5	R6	R7	R7.4	R8.4	前年同期比
認知件数	7,410	7,647	9,955	10,933	10,692	3,201	3,508	307
検挙件数	3,421	2,953	3,810	3,626	4,322	1,317	1,396	79
検挙人員	1,846	1,796	2,116	2,397	2,391	663	724	61
検挙率	46.2%	38.6%	38.3%	33.2%	40.4%	41.1%	39.8%	-1.3P

○ 認知件数を市町別にみると、四日市市が756件で最多

2 重要犯罪

	R3	R4	R5	R6	R7	R7.4	R8.4	前年同期比
認知件数	97	93	116	120	139	45	45	0
検挙件数	87	92	90	93	125	39	41	2
検挙人員	72	78	82	92	110	34	39	5
検挙率	89.7%	98.9%	77.6%	77.5%	89.9%	86.7%	91.1%	4.4P

○ 認知件数を市町別でみると、津市が9件で最多

* 重要犯罪とは、殺人、強盗、不同意性交等、不同意わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買をいいます。

3 窃盗犯

	R3	R4	R5	R6	R7	R7.4	R8.4	前年同期比
認知件数	5,140	5,447	6,909	7,293	7,126	2,118	2,281	163
侵入盗	648	727	1,208	1,211	1,288	341	367	26
乗物盗	1,276	1,582	1,915	2,098	2,119	546	594	48
非侵入盗	3,216	3,138	3,786	3,984	3,719	1,231	1,320	89
検挙件数	2,259	1,858	2,476	2,128	2,842	884	936	52
検挙人員	1,010	950	1,085	1,143	1,157	315	365	50
検挙率	43.9%	34.1%	35.8%	29.2%	39.9%	41.7%	41.0%	-0.7P

○ 認知件数を市町別でみると、四日市市が487件で最多

4 重要窃盗犯

	R3	R4	R5	R6	R7	R7.4	R8.4	前年同期比
認知件数	750	840	1,329	1,291	1,382	380	401	21
検挙件数	690	324	763	500	723	175	309	134
検挙人員	94	87	89	82	84	21	22	1
検挙率	92.0%	38.6%	57.4%	38.7%	52.3%	46.1%	77.1%	31.0P

○ 認知件数を市町別でみると、津市が81件で最多

* 重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち、侵入窃盗、自動車盗、ひったくり及びすりをいいます。

5 特殊詐欺

		R3	R4	R5	R6	R7
認知件数	旧特殊詐欺	110	142	274	367	489
	SNS型投資	—	—	113	172	226
	SNS型ロマンス	—	—	6	127	136
被害金額 (約一万円)	旧特殊詐欺	19,250	37,630	70,760	120,000	184,980
	SNS型投資	—	—	115,230	172,540	211,290
	SNS型ロマンス	—	—	740	94,430	132,040
検挙件数		37	39	45	73	129
検挙人員		17	18	15	27	29

	R7.4	R8.4	前年同期比
認知件数	256	265	9
SNS型投資	46	95	49
ニセ警察	50	50	0
架空料金請求	53	50	-3
被害金額(約一万円)	129,030	153,510	24,470
SNS型投資	31,150	73,530	42,390
ニセ警察	24,480	34,230	9,750
架空料金請求	5,550	21,110	15,560
検挙件数	25	10	-15
検挙人員	4	3	-1

- 認知件数を市町別でみると、四日市市、津市が55件で最多
- 手口別では、SNS型投資詐欺が95件、被害額約7億3,530万円が最多
- * SNS型投資・ロマンス詐欺の令和5年は集計方法が異なるため参考数値です。
令和7年4月数値及び令和8年4月数値の内訳は、認知件数の多い3手口を記載しています。

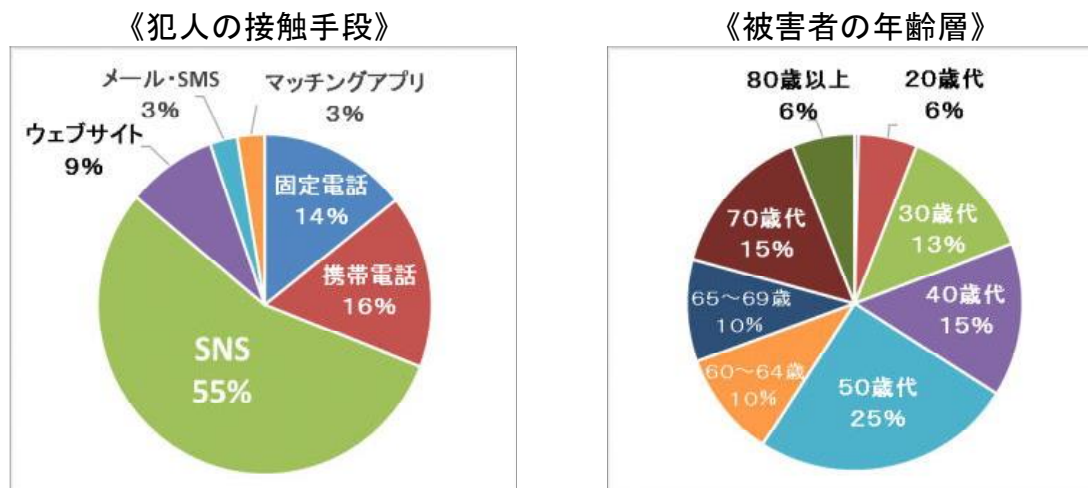
6 薬物犯罪

	R3	R4	R5	R6	R7	R7.4	R8.4	前年同期比
検挙人員	106	74	92	93	117	30	46	16
うち覚醒剤	77	47	63	62	67	22	21	-1
うち大麻	24	22	29	25	39	7	22	15
うちその他	5	5	0	6	11	1	3	2

- 20歳代が15人で最多、30歳代以下で約7割(32人)を占める。
- * その他とは、「麻薬及び向精神薬取締法違反(大麻事犯を除く。）」、「あへん法違反」「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律違反」をいいます。

特殊詐欺対策

1 特殊詐欺の被害状況（令和8年4月末現在）



- ・ 犯人からの接触ツールはSNSが55%、電話が30%

- ・ 幅広い年齢層で被害が発生
- ・ 50歳代の被害が最も多い

2 被害防止対策

(1) 特殊詐欺の電話を受けないための対策

- 警察庁推奨特殊詐欺対策アプリの普及促進
- 国際電話不取扱受付センターの周知及び利用休止申込みの促進
- 自動通話録音警告機の無償貸出



警察庁
特殊詐欺対策ページ

【警察庁推奨特殊詐欺対策アプリ】

(2) 県民の警戒心・抵抗力を向上させるための広報啓発

- プロの劇団員による特殊詐欺被害防止演劇
- ターゲティング広告を活用した広報啓発
- 可搬式デジタルサイネージを活用した広報啓発



【可搬式デジタルサイネージ】

(3) 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策

- 声掛け支援シートを活用した顧客への声掛けの促進
- 水際阻止に係る気運の醸成

【水際阻止件数・阻止金額（令和8年4月末現在）】

	阻止件数			阻止金額
	金融機関	コンビニ	その他	
水際阻止状況	52	26	10	約1億5,260万円

※その他は、警察官、家族等による阻止



【感謝状の贈呈】

水難・山岳遭難の認知状況等

1 水難

(1) 認知状況

区 分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	前年比
認知件数(件)	27	38	33	25	25	±0
水難者数(人)	34	41	34	30	25	-5
死者	17	20	21	14	20	+6
負傷者	4	6	4	4	3	-1
行方不明者	0	0	0	0	0	0

(2) 水上警察隊の体制

- 本部地域課、四日市南署、鳥羽署で編成（隊長以下12名）
- 警察用船舶3隻

(3) 水難防止に向けた主な取組

- 警察用船舶を活用した警らや指導取締り
- 遊泳者、釣り人等に対する安全指導
- ウェブサイトやXを活用した水難防止対策の情報発信



(水難防止広報：尾鷲港)

2 山岳遭難

(1) 認知状況

区 分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	前年比
認知件数(件)	65	72	57	62	80	+18
遭難者数(人)	80	86	69	69	94	+25
死者	6	12	7	5	10	+5
負傷者	30	28	22	31	31	±0
行方不明者	0	1	0	1	1	±0

(2) 山岳警備隊の体制

県内11警察署で編成(153名)

(3) 山岳遭難防止に向けた主な取組

- 関係機関と連携した登山道の警戒パトロール
- 登山口等における安全指導
- ウェブサイトやXを活用した山岳遭難防止対策等の情報発信

(登山者に対する安全指導
：御在所ロープウェイ前)

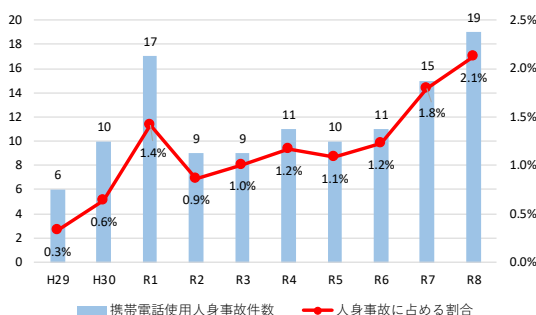
交通安全対策

1 県内の交通事故情勢（各年4月末）

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	前年同期比
人身事故件数	1,885	1,632	1,252	1,087	946	975	971	931	860	925	65
死亡事故	22	26	19	29	17	15	22	14	17	20	3
死傷者数	2,512	2,198	1,648	1,402	1,196	1,229	1,267	1,174	1,057	1,193	136
死者	22	28	19	30	17	15	23	14	17	25	8
負傷者	2,490	2,170	1,629	1,372	1,179	1,214	1,244	1,160	1,040	1,168	128

2 交通事故の特徴（各年4月末）

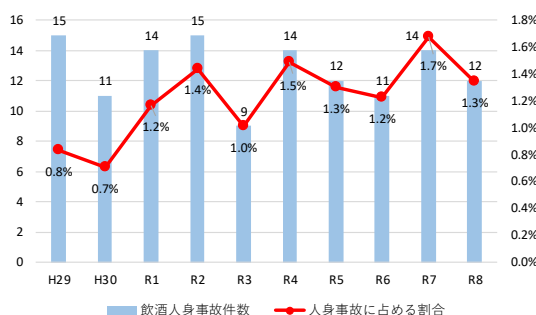
◆ 携帯電話等使用人身事故 件数・割合ともに増加



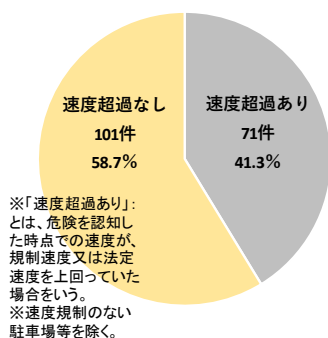
※携帯・飲酒・速度超過率は原付以上の第1当事者の件数を抽出

◆ 飲酒運転人身事故 件数は横ばい、割合は増加傾向

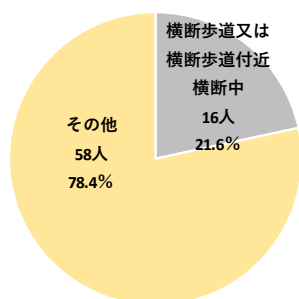
件数は横ばい、割合は増加傾向



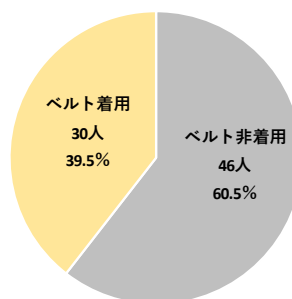
◆ 速度超過率 4割以上が超過



◆ 歩行中死者の状況 2割以上が横断歩道等



◆ シートベルト着用率 6割以上が非着用



※ 速度超過率、歩行中死者の状況、シートベルト着用状況はH29～R8（各年4月末）合計

3 交通事故抑止に資する交通指導取締り

飲酒運転や「ながらスマホ」、歩行者妨害等の悪質性・危険性の高い交通違反とシートベルト着用義務違反に対する交通指導取締りを強化します。

交通事故の発生実態等を分析し、取締りを実施する時間・場所等の交通指導取締りに関する方針を策定して、計画的な取締りを実施するなど、地域の交通事故実態や住民の要望を踏まえた交通指導取締りを推進します。

【交通指導取締りの実施状況】

区分	飲酒	携帯電話	横断歩行者等妨害等	速度超過		無免許	信号無視	一時不停止	通行区分追越し	シートベルト	総検挙件数
					うち移動オビス						
令和8年4月末	145	1,034	1,587	1,962	52	123	1,197	2,968	513	1,446	12,648
前年同期比	-55	-205	-280	-840	36	17	-286	-310	-279	-516	-2,791
令和7年中	676	3,443	6,359	9,830	81	356	4,381	11,071	2,250	5,756	50,107